

平成 30 年 9 月 12 日(水) 第 3 校時
授業会場 2 西教室
2 年西組 男子 19 名女子 19 名 計 38 名
指導教官
授業者

1 本時案

(1) 本時の位置 (全 1 時間扱い中の第 1 時)

(2) 本時の主眼

工作をすることに興味を持っている子どもたちが、きれいな紙トンボをつくる場面で、羽根に色をつけたりして、友と作品を見合い、みんなで飛ばすことを通して、自分の表したい紙トンボを作り満足感を得ることができる。

(3) 指導上の留意点

- 子どもが紙トンボをきれいに つくることを追求できるように、教師があらかじめ用意した規格の材料を用いる。また、ホッチキスを班の分用意する。
- 子どもが制作を進めることができるように、タブレットとスクリーンを用い教師が実際に作り方を拡大して示す。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導入	1. 本時の学習内容を確認する。	・紙トンボだ！やったことあるよ。 ・そんなに飛ぶんだ！やってみたいな。 ・とってもきれいだった！ ・きれいな紙トンボをつくりたい！	7	○子どもが本時の内容を理解し、願いを 持つことができるように、教師が紙ト ンボを提示し、感じたことを問う。 ○「飛んでいる紙トンボ、どうだった？ どんな紙トンボを作りたい？」
	学習問題：きれいな紙トンボをつくらう			
展開	2. きれいな紙トンボを 作るにはどうしたらい いか考える。	・羽根に色をつければ いいんじゃない？ ・裏面にも色をつけたら飛ばしたとき見えそう。 ・たくさんの色を使えばよさそうだよ！		○子どもが追求の見通しを立てることが できるように、きれいな紙トンボを作 るにはどうすればよいか問いかける。 ○「どうすればきれいな紙トンボになる かな？」
	かぎ：羽根に色をつけたらよさそうだ。			
	3. 紙トンボをつくる。	・紙とストローだけで本当に飛ぶのか なあ。 ・回したときにきれいになるように色 をつけたいな。 ・羽根に絵を描きたいな。		○子どもが制作を進めることができるよ うに、教師が紙トンボのつくりかたを 示す。 ○子どもがきれいな紙トンボづくりを追 求できるように、ホッチキスなどの難 しいところは補助する。
終末	4. 友と作品を見せ合 い、みんなで作った紙ト ンボを飛ばす。	・〇〇さんの紙トンボかっこいい！ ・裏にも色を塗ったから飛ばしたとき きれいだよ。 ・もう少し色をつけようかな。		○子どもが自分の紙トンボに満足感を得 ることができるように、友と作品を見 せ合い場面を設ける
	5. 本時の追求の振り返 りを行う。	・ちゃんと飛んだし、納得のいく羽根の 模様になった。 ・自分だけの紙トンボがつくれた。 ・もっとたくさんつくりたい。		評価：自分の表したい紙トンボを作 り満足感を得ている。 評価方法：活動の様子、作品 ○子どもが本時の追求を深めることがで きるように、本時の振り返りを行う。